

## 第6学年 社会科 学習指導案

日時：令和5年7月7日（金）1～4時間目

場所：多目的室・アーケード

指導者：石原加那子

古代文化センター 職員2名

（平石 充 榊原 博英）

1 単元名 「弥生時代、古墳時代を知る」（文化財子ども塾）

- 2 ねらい
- ・縄文時代・弥生時代・古墳時代の出土遺物に実際に触れる。
  - ・火おこし体験、勾玉づくりを通して、古代人の知恵に学ぶ。

### 3 授業の流れ

時間	授業展開	指導上の留意点
7:45～	0 会場準備	・多目的室を使用。
9:00～	1 はじめの会 宍道小学校の周りにある遺跡について学ぶ	・電子黒板にパソコンよりパワーポイントで提示。
9:20～	2 体験活動を行う。	・遺物を机2台分で見学。
9:25 ～9:40	遺物見学	・最初のあいさつ、全体説明は多目的室で行う。
10:00 ～10:15	火おこし	・火おこしは、体育館前アーケードで行う。
10:20 ～10:25	片付け 休憩→多目的室へ移動	
10:25～	玉作の歴史、玉作りの注意説明 玉作り体験	・勾玉づくりは、多目的室で新聞紙をひいて行う。
11:50～	片付け・そうじ	
11:55	終わりの会	
12:00～	ふり返り	・教室にて、授業のふり返りを行う。

- 4 準備物
- ・子ども…軍手（火おこし体験）、図工用水入れ（勾玉を磨く）、新聞紙1日分
  - ・学校…電子黒板（パソコンでパワーポイント使用）、長机2脚